

日本心血管理学療法学会「COVID-19 関連情報特別チーム」
海外の専門情報の収集と精査、掲載班 入力フォーム

No.16

調査者	板垣 篤典、齊藤 正和
情報ソースの刊行日	2020年3月6日
情報ソースの調査日	2020年4月21日
日本理学療法士学会 HP に公開された日	2020年5月21日
日本語タイトル	COVID-19 パンデミック時における動脈硬化性心血管疾患の二次予防と心臓リハビリテーションの最適化
情報ソース	Optimising Secondary Prevention and Cardiac Rehabilitation for Atherosclerotic Cardiovascular Disease During the COVID-19 Pandemic: A Position Statement by the Cardiac Society of Australia and New Zealand
情報のカテゴリー	回復期の心リハ、生活機的心リハ (介護・福祉系を含む)
発信地域	オセアニア (オーストラリア、ニュージーランド)
DOI	https://doi.org/10.1016/j.hlc.2020.04.007
URL	https://www.csanz.edu.au/wp-content/uploads/2020/04/CSANZ-position-statement-Secondary-Prevention-and-Cardiac-Rehabilitation-COVID19-20-April-2020.pdf
要約	<ul style="list-style-type: none"> Cardiac Society of Australia and New Zealand (CSANZ) によるポジションステートメントである。 COVID-19 の感染拡大により、多くの心血管患者が心臓リハビリテーションを含む医療サービスを楽しむことが難しい状況にある。 そのため、心血管疾患再発予防に関するガイドラインを遵守することが難しい場合があるが、心疾患患者への効果的な二次予防戦略を適切に実施することがこれまでになく重要になってくる。
最も注目するポイント 理学療法にどのように役立つか？	<ul style="list-style-type: none"> 最も重要なポイントは、心血管患者は、疾患管理に向けた継続的な支援を受けなければならないことである。 e-ヘルス戦略や遠隔医療などの戦略を駆使して、心血管患者の二次予防に向けた効果的な取り組みを検討する必要がある。 これらの治療戦略の有効性と費用対効果を検証するとともに、COVID-19 パンデミック収束後の継続可能性についても検討すべきである。